



EMERSON
EM-205

生産物賠償責任保険付
保証書在中

第四類 第一石油類 危険等級Ⅱ

火気厳禁

消防法適合品

エマーソン ガソリン携行缶 アルミボトル 1000cc

取扱説明書

この度は「エマーソン ガソリン携行缶 アルミボトル」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用頂くために、この取扱説明書をよくお読み下さい。
また、読み終わりましたもこの取扱説明書を大切に保管のうえ、必要の都度お読み返し下さい。

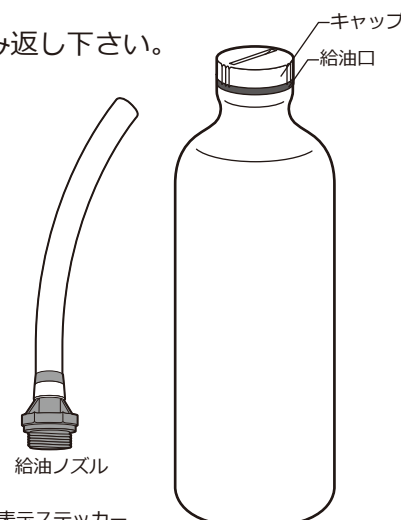
※製品仕様

品番	呼容量	本体サイズ	本体重量
EM-205	1000cc	Ø80×高さ272mm	230g

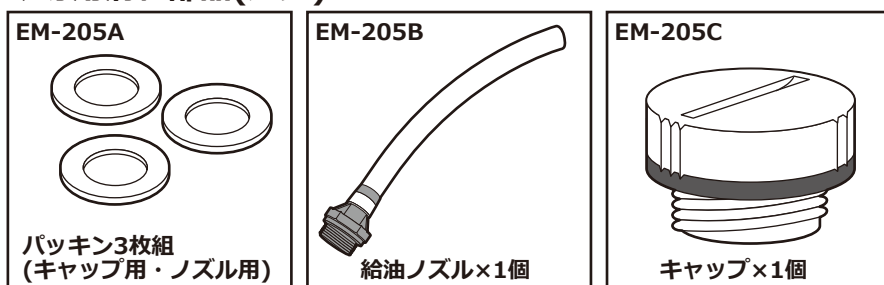
⚠ 少容量のガソリン携行缶につきましては、ガソリン計量器によっては呼容量まで入らない場合があります。

付属品(共通)	・ 内容物表示ステッカー ・ 給油ノズル ・ 収納袋
板の厚さ	0.9mm以上
材質	本体/キャップ：アルミ

※各部名称



※専用消耗部品(別売)



※安全上のご注意

- 本製品を正しく安全にご使用頂くため、ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みになり、よく理解したうえで正しくお使い下さい。
- この取扱説明書は大切に保管のうえ、ご使用中に分らなくなった時など、必要な都度、お読み返し下さい。また、他の人が使用する場合も同様です。
- ここに示す注意事項は、本製品を正しく安全にご使用頂くためのもので、火災、ケガなどを未然に防止するものです。

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

※使用上の注意と警告マーク

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容 を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、 人が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容 を示します。

※ご使用前の注意と警告

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

⚠ 警告	● 本製品は、ガソリンの運搬及び保管に使用するものです。本来の目的以外で使用しないで下さい。 ● 周囲に火気が無い事を十分確認して使用して下さい。 ● 自動車他、動力が付いているものに給油する際は、動力を停止した状態でご使用下さい。 ● ナイロンやポリエステルなど、静電気が発生しやすい服装で作業をしないで下さい。 ● ガソリン携行缶本体にサビや劣化、破損がみられる場合は、缶内のガソリンを抜き取り、直ちに使用を中止して下さい。そのままご使用になりますと引火の可能性があり大変危険です。 ● 付属部品の劣化や破損が見られる場合は必ず交換して下さい。漏れの原因となります。 ● 誤った使用方法や、火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・公害・塩害などによる故障や、損傷についてはいかなる責任も負いかねます。
⚠ 注意	● 本製品にガソリン・灯油・軽油以外の物は入れないで下さい。サビや劣化、破損の原因となります。 ● ガソリンを給油する際はガスだまりが必要です。呼容量以上で使用しないで下さい。

※ご使用方法と使用上の注意

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

⚠ 警告	● ガソリンを携行する際は、動かないようにしっかりと固定されている事を確認して下さい。漏れや破損、汚損の原因となります。
------	--

※ご使用方法と使用上の注意

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

⚠ 警告	● キャップが確実に締まっている事を確認して下さい。緩みがある場合、漏れや汚損の原因となるだけでなく、気化したガソリンに引火する可能性があり大変危険です。 ● ガソリンを携行する際は、直射日光や、高温になる場所を避けて設置して下さい。変形や破裂の原因となり大変危険です。バイク用のリアボックス及び、サイドボックスは高温になる恐れがあるのでご注意下さい。
⚠ 注意	● キャップやノズルの開閉時に指をはさまないよう、十分注意して下さい。 ● 給油の際、ノズルがきちんと確実に取り付けられている事を確認し、万が一、溢れても作業者や、周囲の人、物などが汚れたり、危険を及ぼさないよう十分注意してからご使用下さい。

● ご使用の前に

(1) 付属品がある事を確認して下さい。

● ご使用の手順

<ガソリン携行缶への給油>

(1) 本製品を給油口が上向きになるように平たんな場所に置いて下さい。

(2) キャップを外して、規定容量以内のガソリンを入れて下さい。

(3) キャップのネジ山がズレないようにきちんと閉めて下さい。

<ガソリン携行缶からの注油>

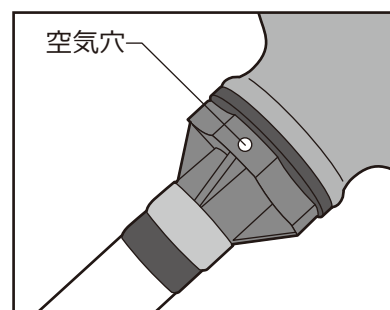
(1) 本製品を給油口が上向きになるように平たんな場所に置いて下さい。

(2) キャップを外して下さい。

(3) ノズルをきちんと確実に取付け、ノズルの空気穴を必ず上向きにして、本体をしっかりと持って注油して下さい。

(4) 注油が完了したら、ノズルに残っているガソリンをしっかりと振り落として下さい。

(5) ノズルを外してキャップをきちんと確実に締めて下さい。



※ご使用後の注意と保管方法

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

⚠ 警告	● 内容物の有無に関わらず、直射日光や火気の近くなど高温になる場所を避けて保管して下さい。また、気温差の大きくなる場所には置かないで下さい。変形や破裂、火災の原因となります。 ● 雨や雪のあたる場所や湿気の多い場所を避けて保管して下さい。サビや劣化の原因となります。 ● ガソリンが入った状態で保管する際は、キャップを確実に締め、平坦な場所で保管して下さい。漏れの原因となるだけでなく、気化したガソリンに引火する可能性があり大変危険です。 ● 長期保管される場合は、周囲に火気が無い事を確認し、時々、缶内の圧力を調整して下さい。内圧の変化により変形の原因となります。 ● 長期間の保存はガソリンの劣化につながります。お早めにご使用下さい。 ● 空の状態でも長期保管する場合は、キャップをゆるめて下さい。また、再度使用する場合には、ガソリン携行缶本体、各々の部品に劣化や破損が無い事を十分に確認して下さい。
⚠ 注意	● 灯油や軽油、混合油を入れて保管する際は、付属の内容物表示ステッカーを目立つところに貼付け、入れ間違いのないよう注意して下さい。

※万が一、事故や損害が発生した場合について

万が一、本製品の欠陥が原因となり事故や損害が発生した場合は、直ちに発売元までご連絡下さい。また、原因の究明にあたって、下記のような必要最小限の情報のご提供や、現品の回収をお願いする事があります。調査前に処分されないようお願い致します。

- | | |
|---------|---------------------------|
| ● 事故の詳細 | ● 損害のあった物の写真 |
| ● 使用状況 | ● 医療機関の診断書 |
| ● 現品回収 | ● その他、事故や損害の状況に応じて必要な情報など |